

平成25年度

単位施策評価表

所属 22500000

保健福祉部 健康増進課

施策	4303 母子保健の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民（母性並びに乳幼児）						
単位施策目的	各種乳幼児健診や相談・健康教育の充実を図るなど、安心して子どもを生ま育てる環境を整える。						
成果指標	3歳児健康診査受診率						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	96.00	97.00	98.00	99.00	100.00
		実績	97.10				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	277,476		0	0	0	
	実績	217,456			0	0	
内部評価	貢献度	乳幼児期から健診等で親子の支援を充実させることは、上位施策の目標指標「健康づくり対策に対する市民満足度」の向上につながるため、貢献度は高い。					
	達成状況	対象への個別通知、親子カレンダーや広報・ホームページでの周知の他、未受診児に対して電話、訪問による勧奨を行う等受診率の向上に努め、本年度の目標は達成した。					
	課題	平成29年度の目標である受診率100%達成に向けて、さらに健診内容や未受診児対策等の改善を図る必要がある。					
	取組方針	今後も広く周知に努める他、健診内容の充実や未受診児対策等改善に向けた検討を行い、受診率の増加を図りたい。					
外部評価	<p>母子保健に対しては、母親の意識が大切であるので母親同士の横の繋がりが持てるよう、情報を共有・交換できるような場（子育てサロンなど）の設置・充実を望む。</p> <p>母子保健の充実を図るため、保健師（臨時職員を含む）を増員し、子育てに関する専門的な知識を生かして、例えば、積極的な訪問指導などを含むきめ細かなケアを行うことが重要である。</p> <p>母子保健に関する施策は、おおむね良好なことから継続維持を望むとともに、受診して課題があった家庭に対しては、支援する体制を整えること。</p> <p>未受診児やその家庭には、何らかの課題があることが予想されるので、その把握と対応に努めること。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	277102	母子保健事業費（大平）				24,894	100
	277105	母子保健事業費（西方）				2,280	100
	277401	乳幼児発達相談事業費				4,615	100
	277501	妊婦健康診査事業費				83,811	100
	277801	未熟児養育医療給付事業費				8,906	100
	277104	母子保健事業費（都賀）				13,550	99
	277301	5歳児発達相談事業費				3,769	99
	277101	母子保健事業費（栃木）				58,113	97
	277103	母子保健事業費（藤岡）				17,518	96
277106	母子保健事業費（岩舟）					0	

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計一般	款項目040101	予算コード277101	事業区分01	経常的事業	新規/その他	2	その他
事業名	母子保健事業費(栃木)						
担当部署	保健福祉部 健康増進課						
係担当	健康づくり担当 母子保健チーム						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	母子保健法			
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、産(前)を、どのように方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)</p> <p>思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・多健健康教室、健康相談事業 ・母子保健健康推進員活動 <p>【主要事業】</p>						
基本施策	健康づくりの充実						
単位施策	母子保健の充実						
事業期間	H15 ~ H29 年度						
全体事業費(人件費除)	326,812千円						

達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)
成果目標	3歳児健康診査受診率...100.0%

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	754	0
県支出金	0	764
地方債	0	0
その他財源	0	0
一般財源	20,996	19,849
事業費a	21,750	20,613
人件費b	60,000	37,500
減価償却費c	0	0
総事業費a+b+c	81,750	58,113
結果指標1	97.58	96.50
結果指標2	10,815.00	10,620.00

事業の内容	<p>①母子健康手帳の交付</p> <p>②両親(母親)教室</p> <p>③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検診</p> <p>④子育てサロン、すくすく教室</p> <p>⑤新生児・産婦・乳幼児訪問指導</p> <p>⑥こどもにちは赤ちゃんなん事業</p> <p>⑦性(生)教育推進員活動</p> <p>⑧フツッ素塗布事業</p> <p>⑨健康事後教室(統合)</p> <p>⑩だっこ教室(統合)</p>
その成果	<p>①母子健康手帳の交付</p> <p>②両親(母親)教室</p> <p>③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検診</p> <p>④子育てサロン、すくすく教室</p> <p>⑤新生児・産婦・乳幼児訪問指導</p> <p>⑥こどもにちは赤ちゃんなん事業</p> <p>⑦性(生)教育推進員活動</p> <p>⑧フツッ素塗布事業</p> <p>⑨健康事後教室(統合)</p> <p>⑩だっこ教室(統合)</p>

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
3歳児健康診査受診率	受診見数 ÷ 対象見数 × 100%	%	妥当性 妥当
育児支援した数	乳幼児健康診査受診者数+各教室参加者数+健康相談者数(延数)	人	受益者負担 適正
		H25	コスト削減の余地 有
			類似事業の有無 無
			上位貢献度 有効
			成果向上の余地 有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

乳幼児健康診査事業では、未受診児の把握に努め、成長発達及び育児面での必要な支援を行う。また、市全体で健康診査の内容や回数を見直し、統合を含め平準化について検討する。

各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。こどもにちは赤ちゃんなん事業を通し、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277102	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	母子保健事業費(大平)												
担当部署	大平総合支 大平健康課 健康増進担当												
係担当手一人名	関口智美												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	母子保健法									

事業の概要	<p>(事業期間のない事業は平成30年度)までに、種(何)を、どうしよう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)</p> <p>思春期から妊娠、出産、育児、子育てに関する母子保健事業を実施する。</p> <p>・低産婦・乳幼児健康診査 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】</p>	<p>(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)</p> <p>安心して子どもを生育できる環境を実現し健やかな子育てが出来る。 ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加</p>
-------	---	---

達成目標	3歳児健康診査受診率…100.0%
------	-------------------

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	172	
県支出金	0	230
地方債	0	0
その他補助	0	0
一般財源	4,760	4,714
事業費 a	4,932	4,944
人件費 b	14,625	19,950
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	19,557	24,894
結果指標 1	96.60	98.50
結果指標 2	4,058.00	4,152.00

事業費	<p>①母子健康手帳の交付 ②両親(母親)教室 ③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼白検診 ④子育てサロン、すくすく教室 ⑤新生児・産婦・赤ちゃん事業 ⑥母子保健推進員活動 ⑦性(生)教育 ⑧健康事後教室 ⑨子育て支援センター ⑩健康相談室 ⑪健康相談室(統合) ⑫子育て支援センター(統合)</p>	<p>①母子健康手帳の交付 ②両親(母親)教室 ③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼白検診 ④子育てサロン、すくすく教室 ⑤新生児・産婦・赤ちゃん事業 ⑥母子保健推進員活動 ⑦性(生)教育 ⑧健康事後教室 ⑨子育て支援センター ⑩健康相談室 ⑪健康相談室(統合) ⑫子育て支援センター(統合)</p>
-----	---	---

算出方法	<p>指標名</p>	算出方法
3歳児健康診査受診率	受診児数÷対象児数	H25目標数値：96.00%
育児支援した数	乳幼児健康診査受診者数+各教室参加者数+健康相談者数(延数)	目標数値：2,400人

事業改善計画	<p>(改善内容とその効果を具体的に記入)</p> <p>乳幼児健康診査事業では、未受診児の把握に努め、成長発達の把握及び育児面での必要な支援を行う。また、市全体で健康診査の内容や回数を見直し、統合を含め標準化について検討する。</p> <p>各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。</p> <p>こんには赤ちゃん事業を通し、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。</p>
--------	---

事業の事後評価	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>妥当</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>有</td> <td>受益者負担</td> <td>適正</td> <td>上位貢献度</td> <td>有効</td> <td>類似事業の有無</td> <td>無</td> <td>成果向上の余地</td> <td>有</td> </tr> </table>	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	040101	予算コード	277103	事業区分	01. 経常的事業	新規/その他	2. その他	基本施策	単位施策
事業名	母子保健事業費 (藤岡)		健康増進チーム		健康増進チーム	健康増進チーム	健康増進チーム	健康づくりの充実	健康づくりの充実	母子保健の充実	母子保健の充実
担当部署	藤岡総合支 藤岡健康課		健康増進担当		健康増進担当	健康増進担当	健康増進担当	健康増進担当	健康増進担当	健康増進担当	健康増進担当
担当職員	2 自治事務		根拠法令等		母子保健法	母子保健法	母子保健法	母子保健法	母子保健法	母子保健法	母子保健法
事業の概要	<p>(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、趣(向)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)</p> <p>思春期から妊娠、出産、育児に関する母子保健事業を実施する</p> <p>・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業</p> <p>・各種健康教育、健康相談事業</p> <p>・母子保健推進員活動</p> <p>【主要事業】</p>										

達成目標	3歳児健康診査受診率…100.0%
成果目標	

事業費・指標の推移	平成24年度	平成25年度
事業費	134	175
地方債	0	0
その他補助	0	0
一般財源	2,316	2,418
事業費 a	2,450	2,593
人件費 b	14,250	14,925
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	16,700	17,518
結果指標 1	91.57	95.61
結果指標 2	1,260.00	1,246.00

事業の内容	①母子健康手帳の交付 ②両親(母親)教室 ③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 ④子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑤新生児・産婦赤ちゃんなりに ⑥子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑦新生児・産婦赤ちゃんなりに ⑧子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑨女性(生)教育推進員活動 ⑩健康診査後教室(統合) ⑪子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑫母子健康手帳の交付	①母子健康手帳の交付 ②両親(母親)教室 ③乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 ④子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑤新生児・産婦赤ちゃんなりに ⑥子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑦新生児・産婦赤ちゃんなりに ⑧子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑨女性(生)教育推進員活動 ⑩健康診査後教室(統合) ⑪子育てサロン、乳幼児訪問指導 ⑫母子健康手帳の交付
その成果		

算出方法	算出方法	単位	単位
3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 × 100%	%	%
育児支援した数	乳幼児健康診査受診者数+各教室参加者数+健康相談者数 (総数)	H	人
結果指標 1	91.57	95.61	
結果指標 2	1,260.00	1,246.00	
事業の事後評価	妥当性	妥当	妥当
コスト削減の余地	有	有	有
受益者負担	適正	適正	適正
上位貢献度	有効	有効	有効
類似事業の有無	無	無	無
成果向上の余地	有	有	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

乳幼児健康診査事業では、未受診児の把握に努め、成長発達及び育児面での必要な支援を行う。また、市全体で健康診査の内容や回数を増やし、統合を含め標準化について検討する。

健康診査の内容や回数を増やし、統合を含め標準化について検討する。また、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。

各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。

これらには赤ちゃんなりに、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277104	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	母子保健事業費(都賀)												
担当部署	都賀健康課 健康増進担当												
担当主	主 4303 健康づくりの充実												
事業の性質	2 自治事務 根拠法令等 母子保健法												
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のたい事業は平成30年度)までの、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入)</p> <p>再発防止から妊娠・出産・育児に關わる母子保健事業を充実する。</p> <p>・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】</p>												
事業期間	H18 ~ H29 年度												
全体事業費(人件費除)	46,026 千円												

達成目標	(事業完了(事業期間のたい事業は平成30年度)までの、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入)											
達成目標	3歳児健康診査受診率...100.0%											
事業の内容	<p>母子健康手帳の交付</p> <p>① 両親(母親)教室、先天性股関節脱臼白検診</p> <p>② 乳幼児健康診査、すくすく教室</p> <p>③ 子育てサロン、産婦・乳幼児訪問指導</p> <p>④ 新生児・赤ちゃん事業</p> <p>⑤ 性(生)教育、⑩ ツッ素塗布事業</p> <p>⑥ 健康事後教室、乳幼児訪問指導</p> <p>⑦ 新生児・赤ちゃん事業</p> <p>⑧ 性(生)教育、⑩ ツッ素塗布事業</p> <p>⑨ 母子保健推進員活動</p> <p>⑩ 健康事後教室(統合)</p> <p>⑪ たっこっこ給本事業(統合)</p>											
その成果	<p>母子健康手帳の交付</p> <p>① 両親(母親)教室、先天性股関節脱臼白検診</p> <p>② 乳幼児健康診査、すくすく教室</p> <p>③ 子育てサロン、産婦・乳幼児訪問指導</p> <p>④ 新生児・赤ちゃん事業</p> <p>⑤ 性(生)教育、⑩ ツッ素塗布事業</p> <p>⑥ 健康事後教室、乳幼児訪問指導</p> <p>⑦ 新生児・赤ちゃん事業</p> <p>⑧ 性(生)教育、⑩ ツッ素塗布事業</p> <p>⑨ 母子保健推進員活動</p> <p>⑩ 健康事後教室(統合)</p> <p>⑪ たっこっこ給本事業(新規)</p>											

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	206	0
県支出金	0	184
地方債	0	0
その他補助	26	0
一般財源	1,978	2,116
事業費 a	2,210	2,300
人件費 b	11,250	11,250
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	13,460	13,550
結果指標1	98.00	99.00
結果指標2	820.00	1,290.00

指標名	算出方法	単位
3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 × 100%	%
育児支援した数	乳幼児健康診査受診者数+各教室参加者数+健康相談者数(延数) ÷ 目標数値: 1200人	人
事業の事後評価	妥当性	妥当
	コスト削減の余地	有
	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効
	類似事業の有無	無
	成果向上の余地	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

乳幼児健康診査事業では、未受診児の把握に努め、成長発達及び育児面での必要な支援を行う。また、市全体で健康診査の内容や回数を見直し、統合を含め標準化について検討する。

各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。これらには赤ちゃん事業を通じ、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。

事

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277105	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	母子保健事業費(西方)												
担当部署	西方総合支 西方健福課 健康増進担当 健康増進チーム												
担当チーム名	母子保健法												
事業の性質	1 法定受託事務 根拠法令等 母子保健法												
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、催(向)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)</p> <p>思春期から妊娠、出産、育児に關わる母子保健事業を実施する。</p> <p>・妊婦、乳幼児健康診査 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】</p>												
達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)												
成果	3歳児健康診査受診率...100.0%												
達成率	14,959千円												

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	21
地方債	0	0
その他補助	0	0
一般財源	1,205	1,284
事業費 a	1,205	1,305
人件費 b	975	975
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	2,180	2,280
結果指標 1	97.00	97.80
結果指標 2	510.00	737.00

事業の内容	母子健康手帳の交付 各教室の実施(両親[母親]教室・親子教室) 健康相談の実施 乳幼児健康診査 乳幼児先天性股関節脱臼検査 訪問指導(新生児・妊産婦・乳幼児) 赤ちゃんやん事業 フツ素塗り 食育事業	その成果	母子健康手帳の交付 ①両親(母親)教室 ②乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 ③子育てサロン、絵本事業 ④だっこ教室 ⑤健診事後教室 ⑥新生児・産婦赤ちゃん事業 ⑦赤ちゃんは赤ちゃんとフツ素塗り ⑧性(生)教育推進員活動 ⑨母子保健推進員の届出・未熟児訪問指導(新) ⑩低出生体重児の届出・未熟児訪問指導(新)
事業費・指標の推移	算出方法	単位	単位
	受診児数÷対象児数 平成25年度目標値:97.5%	%	%
	乳幼児健康診査受診率	人	人
	育児支援した数	510人	510人

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)	事業の事後評価	事業の事後評価
乳幼児健康診査事業では、未受診時の把握に努め、成長発達及び育児面での必要な支援を行う。また、市全体で健康診査の内容や回数を見直し、統合を含め平準化について検討する。	乳幼児健康診査受診率、各教室参加数・健康相談数(延数) 平成25年度目標値:510人	妥当性	妥当
各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくよう取組を強化していく。ことに赤ちゃんやん事業を通して、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。		コスト削減の余地	有
		受益者負担	適正
		類似事業の有無	無
		上位貢献度	有効
		成算向上の余地	有

